

地域計画

策定年月日	令和7年2月17日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和 11 年度
市町村名 (市町村コード)	日野町 25383
地域名 (地域内農業集落名)	日野地区 (河原農業組合)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	22.206 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	21.538 ha
② 田の面積	22.206 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.000 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.000 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.000 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

【現状】 農業者の年齢は比較的若く、ある程度の面積を営農する農家(法人)も入作者として関係しているが、次世代へと継承する目途が立っていない。今後5～10年後以降に担い手の確保が問題となる可能性あり。

【課題】 農業者の減少・担い手の確保・耕作条件の改善

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

近年まで水稻栽培のみを行っていたが、昨今の不安定な米価・国の農政事業の見通しが不確定なことから、小麦および大豆の栽培を開始している。獣害等の懸念もあるが、水稻を主軸として土地利用型作物の生産も視野に入れて地域の営農を安定化させ、また地域内外からの農業者を受入れる。それと平行して耕作条件の改善を進めていくことで、農地の未来への継承を進める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構への貸付を進め、地域担い手への農地集約により営農の効率化および安定化を図る。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	69.5	%	将来の目標とする集積率
			69.5 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地が大半を締め始めており、また他の農業者が比較的若いため、農地の耕作者異動は起こりにくいと思定される。今後担い手への集約化・団地化、また農業用施設やインフラの維持管理・改修を重点的に行う。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
今後も継続して地域内での話し合いを実施し、目標地図の見直しを行って、農地の集約化を行う。
(2)農地中間管理機構の活用方法
目標地図に沿った形で農地中間管理機構を農地の貸借を進める。
(3)基盤整備事業への取組
農地の大区画化・水利設備の改善等を行い、将来へむけて営農環境の改善を図る。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から意欲ある農業者を募り、農業者、地域及び関係機関が一体となって確保・育成に取り組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
農作業量が多くなることが容易に想像できるため、“A”や”B”などの農業支援サービス事業者を積極的に活用し、営農活動の安定を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①獣害防止に向け、集落による獣害柵点検を定期的に行っているが、今後も継続して行う。
②環境こだわり農業を継続する。
⑧農村まるごと保全向上対策に継続して取組み、農道・水利施設の保全に努める。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			5年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者		水稻	0.300 ha	0.0 ha	水稻	0.300 ha	0.0 ha	A	－
利用者		水稻	2.740 ha	0.0 ha	水稻	2.740 ha	0.0 ha	B	－
利用者		水稻	1.310 ha	0.0 ha	水稻	1.310 ha	0.0 ha	C	－
利用者		水稻	1.912 ha	0.0 ha	水稻	1.912 ha	0.0 ha	D	－
利用者		水稻	0.500 ha	0.0 ha	水稻	0.500 ha	0.0 ha	E	－
認 農		水稻	3.114 ha	0.0 ha	水稻	3.114 ha	0.0 ha	G	全経営面積【28ha】他地区を含む
認 農		水稻	1.508 ha	0.0 ha	水稻	1.508 ha	0.0 ha	I	全経営面積【28ha】他地区を含む
認 農		水稻 麦 大豆	0.940 ha	0.0 ha	水稻・麦	0.940 ha	0.0 ha	F	全経営面積【29ha】他地区を含む
認 農		水稻 麦 大豆	9.882 ha	0.0 ha	水稻・麦	9.882 ha	0.0 ha	H	全経営面積【23ha】他地区を含む
			ha	ha		ha	ha		
計	9経営体		22.206 ha	0 ha		22.206 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

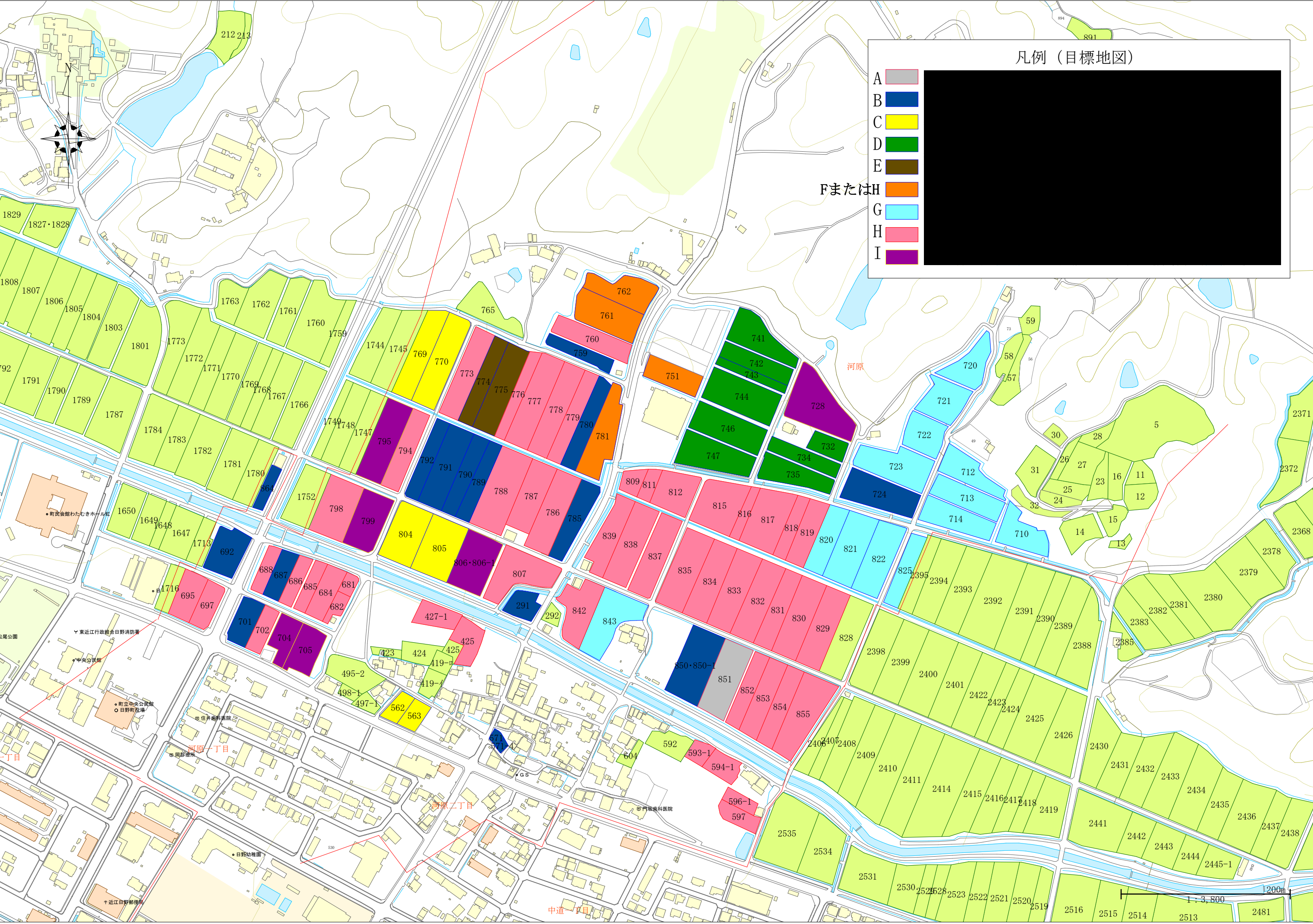
注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3: 提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。



凡例 (目標地図)

A	
B	
C	
D	
E	
FまたはH	
G	
H	
I	

